



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R I 会長 田中 作次

●クラブテーマ「調和・Balance」●



第2590地区 ガバナー
露木 雄二

- 会 長 飯田 泰之
- 会長エレクト 伊東 英紀
- 副 会 長 山田 正憲
- 副 会 長 吉田 隆男
- 幹 事 西山 潔
- 副 幹 事 山本 芳弘
- 会 計 朝日 達夫
- 副 会 計 金森 欣一
- S A A 横溝 亘
- 副 S A A 矢野 修二
- 副 S A A 河野 明光
- クラブ会報 森永 健



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 第25週報 No. 1772 2013年(平成25年) 1月18日 第1772回例会記録 1月25日発行

司 会 山本 芳弘 副幹事

会長報告 飯田 泰之 会長

・米国サンディエゴで開催されております国際協議会（1月13～19日）におきまして、ロン D. パートン R I 会長エレクトより次年度の R I テーマが発表されたとの連絡が地区より来ております。

点 鐘 飯田 泰之 会長

幹事報告 西山 潔 幹事

・例会終了後に1月度定例理事会を開催致します。

斉 唱 「我等の生業」

委員会報告

雑誌委員会 委員 岩澤 利雄

今月の友の横組み7ページには「ロータリーの友60年のあゆみ」と題しての記事が掲載されております。興味深い内容ですから是非ご一読下さい。 《次頁へ続く》

四つのテスト 長井 章 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 金原亭馬好 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 横浜 R.C 竹澤 秀樹 様
神奈川 R.C 金野 克佐 様

本日〈1月25日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「それでこそロータリー」
- ◆ 献 立 幕の内弁当
- ◆ 卓 話 「東京米山ロータリーEクラブ2750について」
東京米山ロータリーEクラブ2750
特別代表 関 博子 様
幹 事 沈 佳琦 様
(紹介者 地区R情報・広報・IT副委員長 赤堀 和人 会員)

創刊号の表紙が北斎の俗称「赤富士」、富岳三十六景「凱風快晴」だったのには驚きました。そこで、凱風とは何か、無知な私はすぐ調べた訳ですが、南風のことようです。

次に縦組みの2ページには「好奇心は人生の栄養」と題して大田南畝こと蜀山人をモデルにした記事が出ています。何歳になっても好奇心は持っていたいですね。

また、19ページに鳥取のドクターが投稿されておりますが、コーヒーの効用として諸病のリスク軽減になる旨書いておられます。コーヒー愛好者としては嬉しい限りですが、山本先生、本当ですか？

スマイルボックス 矢野 修二 副SAA

横浜R.C 竹澤秀樹様 メーカーでお邪魔しました。よろしくお願い致します。

神奈川R.C 金野克佐様 本年もよろしくお願い致します。

飯田泰之君 ①ゲストスピーカーの金原亭馬好様、卓話楽しみにしております。②先日の第2テーブルミーティング出席の皆様、ご苦勞様でした。

吉田隆男君 先日は有意義なテーブルミーティング、ありがとうございました。植田テーブルマスター、ご苦勞様でした。

月山 勇君 先日の第2テーブルMでは植田テーブルマスターにお世話になりました。テーマ「ニコニコの意味と使い道について」は完全にSAAさんにはめられましたね……。でも、素晴らしいテーマでした（フォローです）。で、今日もニコニコへ……。

山本 登君 寒い……。

西山 潔君 ①先日、雪かきをしてギックリ腰になってしまいました。情けな〜い！！②金原亭馬好様、本日の卓話、楽しみにしております。よろしくお願い致します。

山田富雄君 皆様、おめでとうございます。1/11欠席して申し訳ありません。今年もよろしくお願い致します。

伊東英紀君 第2テーブルミーティング出席の皆様、ご苦勞様でした。河野さん、お世話になりました。

山本芳弘君 先日の第2テーブル、急に欠席を致しまして失礼致しました。

山田正憲君 ①第2テーブルミーティングに参加の皆様、お疲れ様でした。植田さん、ありがとうございました。②金原亭馬好様、楽しいお話を期待しています。私も落語大好きです。

植田清司君 16日の第2テーブルミーティングご出席の皆様、お疲れ様でした。大変有意義なミーティングになりまして、ありがとうございました。

田中龍太郎君 一昨日の第2テーブルミーティングご参加の皆様、お疲れ様でした。ニコニコについて、使い道について、色々勉強になりました。増強の方もよろしくお願い致します。

茂木知子さん “ワンコが輪ゴムを食べてしまったので、吐かせて欲しい”との依頼がありました。“輪ゴムなら自然に排泄されるので様子を見たらいかがですか？”と申し上げても“太いゴムなのです。”と言って納得しません。仕方なく吐かせる処置を致しました。しかし、吐いた物は特殊な用途のゴム製品でした。それを見た瞬間気まずい沈黙が流れました。

小山市康君 金原亭馬好様、お待ちしております。今日はどんな話が飛び出すのか楽しみです。

高瀬伸一君 中国のゴルフショーに出品した当社ゴルフボールの台湾輸出が決まりました。初の輸出案件、ニコニコです。

中野真理さん 明けましておめでとうございます。先週は娘のインフルエンザで欠席致しました。今年もよろしくお願ひ致します。

横溝 亘君 先日の第2テーブルミーティング出席の皆様、お世話になりました。植田テーブルマスター、とても有意義なミーティングでした。ありがとうございます。

矢野修二君 第2テーブルミーティング出席の皆様、ご苦勞様でした。

1月18日	19件	42,500円
本年度累計		1,258,000円

出席報告

月山 勇 出席副委員長

会員総数	54名	(37+17)名	
出席会員数	41名	(28+13)名	
出席率	82.00%		
ゲスト	1名	ビジター	2名
前回補正後	81.63%	前々回補正後	92.00%

卓話

「懐かしの縁日、見世物等紹介」

落語家 金原亭馬好 様
(紹介者 小山 市康 会員)



「僕の子どもの頃」

子供時分通っていた区立台東小学校。ここから鶯谷方向に向かって行くと、根岸通り。夏になると柳並木の下に縁日が立ちます。

綿菓子・ベビーカステラ・のしイカ等々・・・クラスの同級生が金魚すくいを、しゃがんでボ〜と見ていた所、孫と一緒に来ていたお爺さんが孫に向かって「金魚すくいでもやってみよう。ホラ・・・キミにもやらしてやるよ・・・」と金魚すくいをおもって貰ったと自慢をしていました。

このお爺さんは先代の三遊亭金馬師匠だったそうです。この師匠は根岸に住んでいて、落語の他に釣りの名人ということで人に知られていました。きっと孫に魚に慣れ親しんで大きくなったら釣りを教えるつもりだったのかもしれませんが。

「おもって貰う」・・・懐かしい言葉です。この境界の下町訛です。「奢って貰う」ことを「おもって貰う」・・・

いつでしたか、つのだじろうの漫画で下町の主人公に「おもって貰う」というセリフを使ってビックリしましたが、作者が下町育ちだったんですね。

話がだいぶ横道に逸れましたが、ここの縁日で、ゴザを引いてアセチレンランプで明かりを取って古本漫画を並べて売っています。本棚が無く、数冊、表紙の方を見えるようにしています。そこで手塚治虫の単行本を15円で買い求めました。

ジロー（友達）の他に漫画の友達数人とだべりながら買い食いをして、帰り際、「あっ！！そうだった！！あの角の大衆食堂にカラーテレビがあるんだってさ！！」「えっ！！本当！！カ、カラーテレビ！！よっ、皆で見に行こうッ」。その食堂のドアを少し開けて子どもたち数人で覗き見しました。

白黒テレビさへ町内に何軒もない時代、カラ〜テベビ〜ですぞ〜（舌が回らない）。カラーテレビの金額で何台の白黒テレビが買えたのでしょうか？白黒の方はいくらしたか知りませんが、カラーテレビの方はハッキリ覚えています。50万！！そ、50万円です。

先日NHKのテレビでその当時、白黒テレビは初任給の20倍だったそうです。（仮に初任給が8万円として、その20倍・・・計算機を持ってきます・・・80,000×20=1,600,000！！）百六十万！！

フー！！驚いた。白黒テレビを仮に6台分でカラーテレビが買えたとしても9,600,000！！1千万近い値じゃありませんか！！そのカラーを見ました。何とも色がどぎつく、赤なら真っ赤、黒なら真っ黒。つまり上から取って付けたような色で、しばらく見ている内に・・・目がチカチカ痛くなってきて・・・「もう・・・かえろ・・・」とトボトボ家路を急ぎながら「フ〜ン、あれがカラーテレビか・・・」「あれなら白黒の方がいいね」「ん・・・」「カラーなんていらねえ」「そうだね」。

皆、誰の家にもテレビなど無いくせにカラーテレビなど欲しくないと負け惜しみではなく思いました。

現在、カラーテレビは4万円も出せばお釣りが来ます。

「え？そのとき買った15円の漫画はなんだった？」東考堂出版の「一千年後の世界」です。現在、古書値が15万！！

明治は遠く成りけり・・・昭和も遠くに成りけり・・・

ロータリーニュース

次年度のテーマは「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

米国サンディエゴで開催中の2013年国際協議会の開会本会議で、ロン・パートン会長エレクトが2013-14年度のテーマ、「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」を発表しました。国際協議会は、次期地区ガバナーが世界中から集まり、次年度の就任に向けて研修を受けるための会合です。

「ロータリーの奉仕の発展を心から願うならば、今、ここにいる私たちが抱いているのと同じ気持ちを、すべてのロータリアンに抱いてもらわなければなりません」とパートン会長エレクト。「すべてのロータリアンが重要な役割を果たすようにするとともに、その貢献を称えることが必要です」

ロータリー財団の新しい補助金モデルが7月から全地区に導入されることに触れた会長エレクトは、今がロータリアンにとって「興奮に満ちたとき」であると述べました。2010年以来、約100の試験地区が活用してきた新しい補助金モデルは、「ロータリー財団の新たな時代の幕開け」であり、人々の人生を豊かにするロータリーの可能性を実現する機会であると、会長エレクトは述べます。

「（未来の夢は）ロータリーの素晴らしさをすべて取り入れ、さらに大きく、持続可能な国際プロジェクトを促すと同時に、地域社会のニーズに応える地元プロジェクトの柔軟性を高めることによって、ロータリーを新しい次元へと昇華させるもの」と話す会長エレクトは、新システムへの移行において、地区ロータリー財団委員長と協力してクラブを援助するよう、次期ガバナーに呼びかけました。

協議会に先立ち、会長エレクトは、「模範を示して導く」ために、次期ガバナー全員がロータリー財団に寄付を行うよう求めました。その結果、全537地区のガバナー・エレクトから寄付が寄せられ、さらにR I 理事会と財団管理委員会も全員が寄付したことにより、総額で675,412ドルが集まったことが、会長エレクトから発表されました。

「もし私が寄付をお願いしていなければ、これだけの寄付は集まらなかったのではないかと話す会長エレクトは、次のように続けました。「これは、今日ここにいる私たち全員が心得ておくべきことだと思います。誰かに何かをしてもらいたいとき、相手がそれに気づいて自発的に行動するのを待つか、お願いするか、二つの選択肢がありますが、後者のほうがずっと理にかなっているのではないのでしょうか」

会長エレクトはさらに、これが会員増強にも当てはまると述べ、新会員候補者に入会をお願いすることは全ロータリアンの責任であると強調しました。国際キワニスの青少年プログラム、キー・クラブに所属していた自らの高校時代に触れ、「自分はいつかキワニアンになるだろうと思っていた」と語るパートン会長エレクト。しかし、実際に入会を誘ってきたのはオクラホマ州のノーマン・ロータリー・クラブだったことから、結果的にロータリーに入会することになったと話します。「ですから、まずはお願いすることが重要なのです」

さらに、会員増強の活動は新会員を入会させた時に終わるのでは

ないと、会長エレクトは訴えます。

「入会した新会員がロータリーに積極的に参加し、ロータリーによって意欲を高め、ロータリーの奉仕のパワーで人々の人生を豊かにできるようになって初めて、仕事が終わったことになるのです」

【2013-14年度RIテーマ】

<英語> Engage Rotary Change Lives

<日本語> ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を



ロータリー・ニュース

ポリオ撲滅にはロータリーのリーダーシップが必要

米国サンディエゴにて2013年ロータリー国際協議会が開催される中、世界保健機関（WHO）でポリオ関連の副責任者を務めるブルース・アイルワード氏が講演しました。インドのポリオ無発生を例にとっても、世界で最も困難な保健問題に取り組むロータリーの力が実証されていると述べ、ロータリーの貢献を称えと同時に、この仕事を完遂するには、引き続きロータリーのリーダーシップが不可欠であることを強調しました。

協議会に出席したガバナー・エレクトを前に、アイルワード氏は世界のポリオ最新情報を説明し、また最近パキスタンで発生した予防接種従事者の襲撃事件にも触れました。

WHOは、ボランティアや保健従事者の安全を確保するため、イスラム教社会から広く協力を得られるよう努力しています。

「ポリオ撲滅活動は、これまでもさまざまな困難に直面してきましたが、方策や態勢を変えて難所を乗り越えてきたように、パキスタンでも引き続き、活動を続けていきます」

WHO、ユニセフ、米国疾病対策センターとともにロータリーが

協力する世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）において、アイルワード氏は、インドで2年間、ポリオが無発生であることを説明しました。

「インドではポリオ撲滅は無理」という専門家たちの予想を覆し、インドは昨年2月、ポリオ常在国リストから除外されました。

今年1月13日まで、ポリオ検査で陽性の結果が出ない限り、インドで野生型ポリオウイルスの感染が抑止されたことがWHOによって正式に宣言されます。

残るポリオ常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国です。現在ポリオが発生していない国でも、ウイルス流入の危険性があるため、全世界でポリオを撲滅するには、全地域で予防接種を続ける必要があります。

GPEIにおけるロータリーの主な役割の一つがアドボカシー活動（政府や民間への働きかけ）ですが、ポリオ撲滅の実現が近づいている今、この働きかけが大変重要なものとなっています。

ロータリーは1985年以来、ポリオ撲滅のために10億米ドル以上を寄付してきました。これに加え、ドナー国から90億ドル以上を確保する上でもロータリーが貢献してきました。今年、GPEIは7億ドルの資金不足に直面しており、目標を達成するにはアドボカシー活動が必要不可欠です。

ポリオ撲滅は私たちの手の届くところにあり、ロータリアンの協力が欠かせない、とアイルワード氏は訴えます。

「ロータリーはこの疾病を撲滅するという歴史的な機会を与えてくれました。ロータリーのリーダーシップがあってこそ、撲滅を実現させることができます」



世界保健機関（WHO）でポリオ関連の副責任者を務めるブルース・アイルワード氏。

1月16日、国際協議会にてポリオの最新情報を説明しました。

ロータリー・ニュース

次回《2月1日》の予定

神奈川R.C・神奈川東R.C合同賀詞交歓会